

## 施設紹介 ② 風樹館

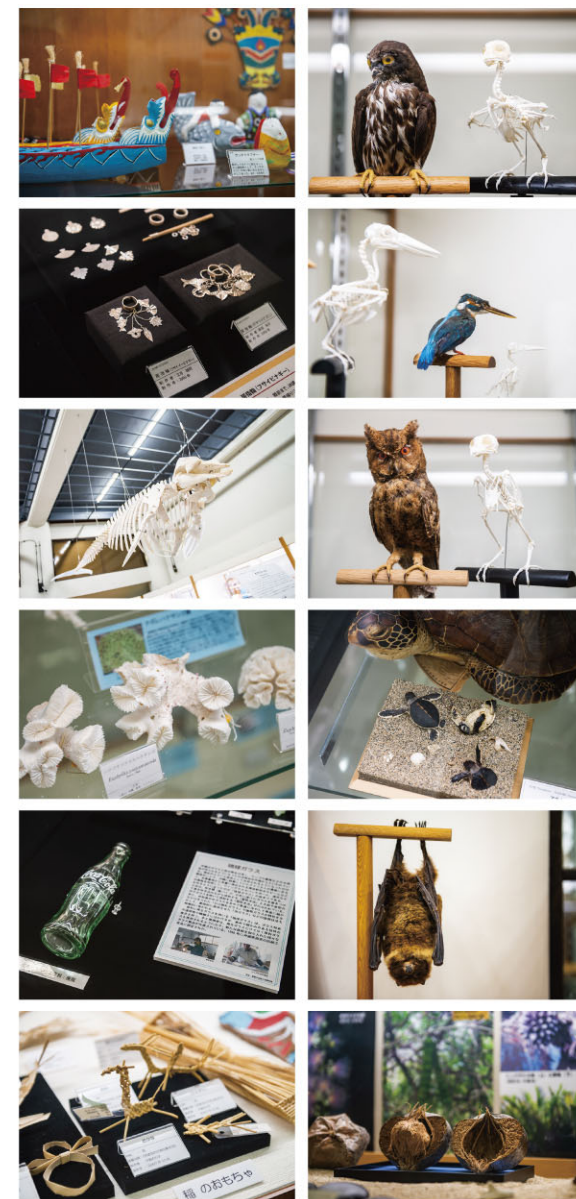
沖縄の自然と文化をテーマに約20万点の学術資料を収蔵



上段は文化系展示室、中段下段は自然系展示室



1階の常設展示室では、沖縄の自然や文化を特徴づける約4,000点の資料が展示されています。展示資料の中には、世界で最初に発見されたイリオモテヤマネコの標本や首里城に設置されていた日時計の破片など、貴重な資料が数多く含まれています。また、すぐ隣には「学校ビオトープ見本園」が設置されており、様々な昆虫や植物、島ヤギなどが観察できます。



琉球大学には附属の博物館があります。農学部のすぐ近くにあるレンガ造りの丸い建物が博物館で、通称「風樹館」と言います。ここでは、約20万点の資料が収蔵されており、学内外の教育や研究に活用されています。また、地域の学校教育や生涯学習への教育支援活動なども行っており、地域に開かれた大学博物館を目指しています。